

令和 6 年度 学校関係者評価 (まとめ)

学校番号	1	学校名	沼津視覚特別支援学校	記載者	三田 薫子
------	---	-----	------------	-----	-------

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	<b>視覚障害に留意した「主体的に学び、思考を深め表現する授業づくり」</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修で得た学びを指導に生かし、授業改善や授業力向上に繋がった教員 100%</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修、校外研修、異校種研修などによる伝達研修等が授業力向上に活かされていると思われる。</li> <li>個々の発達に応じて教材作りや授業づくりをしている。学習成果や成長を意識していてよい。</li> <li>教師としての資質を高める最も大切なことができています。</li> <li>オンライン研修もよいが、互いに声を聞ける直接会える機会も大切にしていることがわかった。</li> <li>継続的に行われていくとよい。</li> </ul>
	視覚障害教育に必要な専門性の向上と指導の充実 (ICT 活用や情報保障を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自身の専門性の維持・向上ができた教職員 90%以上</li> <li>自立活動研修、視能訓練士との連携で得た知識や技能を授業、学校公開、日常生活等で活かすことができた教員 80%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>良い取組をしている。ICT を活用してより便利に過ごせるようになると良い。</li> <li>情報が年々新しくなる中で、情報取得に積極的な姿勢がある。得た情報を地域にも発信できるともっとよい</li> <li>便利なアプリや機能を学校で生徒たちが使ったり、保護者たちが体験できるようにするとよい。</li> <li>視覚障害者が発信しているラジオ等にも興味を持って情報を得たりしてほしい。</li> </ul>
イ	<b>将来をイメージし、幼児児童生徒の自己選択を意識した指導</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育について学んだことをもとに将来をイメージし幼児児童生徒の自己選択を意識した指導や保護者面談等で活かすことができた教員 80%以上</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の意向と学校でできることに差はあるが、縮まるように努力して欲しい。</li> <li>将来のイメージは卒業生とのつながりが大切。卒業後も話を聞く機会を持てるとよい。</li> <li>コロナ禍前のように学習発表会等で卒業生やその保護者と交流できるとよい。</li> <li>保護者が求める進路情報は様々であるため保護者評価のC評価 13%は許容範囲ではないか。</li> </ul>

様式第 4 号

	<p>自他を尊重し合う心と体の教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や仲間・友達の好きなどころや良いところを教師へ1つ以上伝えることができる幼児児童生徒 80%以上。</li> <li>・体力が維持向上した幼児児童生徒 75%以上</li> <li>・人権感覚を意識した指導ができたと感じる教職員 80%以上</li> </ul>	<p>B</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きめ細やかな指導が行き届いている。生徒数が少ない良さを活かしている</li> <li>・友達に関心を持ち、自分の気持ちを言語化し、表現できていてよい。</li> <li>・否定的発信を改善するロールプレイなどの実践をしていてとても良い。</li> <li>・コミュニケーションの支援に関して様々な考え方や方針の共有ができてよかった。</li> <li>・授業で話し合ったり、ディベートをしたりして相手をよく理解し、良いところを見つける場面を大切にしたい。</li> <li>・「傾聴」の大切さ、「人権」の難しさ、受取方次第で差別となってしまうことの怖さは誰しもあると思う。傷つく経験も大切だと思う。</li> </ul>
<p>ウ</p>	<p>超早期から成人までの切れ目のない教育相談の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関・保健センター等の協力が得られた場合に調査し、理解推進・教育相談を受けて、「よかった」という回答が 70%以上</li> <li>・アンケートで、「よかった」以上をつけた相談者 80%以上</li> </ul>	<p>A</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期に支援につなげられた取り組みがよい。</li> <li>・努力の跡が見られる。今後、連携・協働の成果がでてくると思う。</li> </ul>
	<p>本校と視覚障害について東部地区における発信と理解推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートにより学校への理解が深まった割合が 80%以上。</li> <li>・新システムを使用し、学校ホームページで情報を分かりやすく発信することができる。</li> </ul>	<p>B</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の大変な努力が見られ、それに伴う成果も出ているので評価したい。保護者の評価については時間差があるものと思われる。</li> <li>・ホームページを利用し、学校の良さや強みを発信できるとよい。</li> <li>・ホームページの写真が小さくて見にくい。学校での子どものよい表情を発信することは大切。ホームページを刷新した効果があるとよい。</li> <li>・本校の強み（視覚障害への配慮、少人数の強み、教員配置の手厚さなど）を発信するとよい。</li> </ul>
	<p>地域の方や外部講師等による社会とつながり合う授業や教育活動の実践</p>	<p>(小学部) 活動を通して児童が学校外の方と関わりが持てたと感じる教員 80%以上。 (中学部) 活動を通して、生徒が地域</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的に地域(社会)に開かれた学校として様々な活動実績があり、地域に溶け込んだ学校という評価が多い。</li> <li>・花壇づくり、樹木札など、地域の方との関わりが持てている。子どもたちも新しい経験が増えた。</li> </ul>

様式第4号

		の方や学校外の専門家から充実した学びを得られたと感じる教員 80%以上 (高等部) 地域やイベント等でのマッサージ奉仕年4回以上。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の福祉週間など休日も含めた地域参加が可能だと交流の場が広がる。</li> </ul>
エ	一人一人が緊急時や発災時にどのように動くかわかり、実践的な緊急体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時や発災時に、自らの判断で自信を持って、組織的な緊急時対応や避難行動ができる教職員 80%以上</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全を保障することは最も基本的なことであり評価できる。</li> <li>・実地で出た課題を都度解決している姿勢に頭が下がる。</li> <li>・避難地域と学校との教育懇談会できめ細やかな緊急時対応や児童生徒対応への対応の説明が行われた。</li> <li>・駅までの通学路のチェックは頻繁に行うとよい。</li> <li>・通学下校途中での発災時に、どのように行動すべきか確認し合う必要がある。</li> </ul>
	児童生徒が安全安心に活動でき、魅力的な環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校環境の不備を原因とした事故発生0回</li> <li>・校内で自分の好きな場所があり、伝えることができる幼児児童生徒 80%以上。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットの点検実施がされていて評価できる。</li> <li>・安全に活動するために子どもたち自身が意識すると良い点について、保護者も聞けると良い。</li> <li>・予算があれば改良したい場所がいくつかあると思う。</li> </ul>
オ	専門性向上と授業準備ができ、魅力的な環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた時間内で効率良く会議・打ち合わせできたと思えた教職員 80%以上。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員独自のやり方があり、学校で工夫されている。</li> <li>・難しいことではあるが、努力していることは評価できる。</li> <li>・年3回の学校運営協議会では、効率的で充実した話し合いや意見交換ができた。</li> </ul>
	個々の強みを活かした風通しのよい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士で相談、協力し合えたと思えた教職員 80%以上。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この行動が必ず幼児児童生徒に還元される源になると思う。</li> <li>・何でも言える意見交換できる環境作りが大切。</li> <li>・校内コンプライアンス委員会を工夫し、十分学校が機能していると思う。</li> </ul>